

2022

5.13(金)→7.10(日)

下関市立歴史博物館

〒752-0979 下関市長府川端二丁目2番27号 Tel:083-241-1080

■開館時間：9時30分～17時(入館は16時30分まで)

■休館日：毎週月曜日

■駐車場：一般26台(有料)身障者用2台(無料)

■観覧料：一般210円(160円) 大学生等100円(80円)

※()内は20名様以上となる団体の料金。

※下関市内に居住する65歳以上の方は観覧料100円。

※18歳以下、高等学校・中等教育学校・特別支援学校に在学の生徒、
障害者手帳をお持ちの方は、観覧料無料。

展示解説会

6月4日(土)・6月12日(日)・6月19日(日)・

6月22日(水)・6月25日(土)

各日13時30分～14時10分

担当：当館学芸員 松田和也

※予約不要 ※内容はいずれも同じです。

※参加人数が多い場合、複数回に分けて実施する場合があります。

下関市立歴史博物館企画展

サムライの装い

—下関ゆかりの武具—



鉄錆地五十八間筋兜(住吉神社蔵)

新型コロナウイルス感染症対策のため、ご来館の際はマスク着用・検温等にご協力をお願いいたします。また、臨時休館やイベントを中止・変更する場合がございます。詳しくは当館HPをご覧ください。

下関市立歴史博物館企画展

サムライの装い

— 下関ゆかりの武具 —

長府藩祖毛利秀元の
武威を示す一頭



鉄錆地五十八間筋兜(住吉神社蔵)

長府藩主所用の甲冑



鉄錆地六十四間筋兜 紫糸威二枚胴具足
(当館蔵)

あの幕末史の
大事件を
かいくぐった
一振り



刀 銘筑前住源信国重貞
(個人蔵 当館寄託)

己の生死を賭けて戦陣に立った武士たち。彼らが用いた刀剣や甲冑などの武具は、実戦のなかで機能的に進化していきました。

また、江戸時代に入り戦乱がやむと、武具には主に権力や武威の象徴としての役割が求められます。いつの時代においても武具には、当時の技術力の粋が集められました。

下関市域には、この地の職人たちが作り上げた武具や、長府毛利家・清末毛利家ゆかりの武具などが伝えられています。本展覧会では、それらの武具を紹介します。下関ゆかりの武具を通じて、それぞれの時代の武のカタチに触れていただければ幸いです。

長府毛利家の家紋が散りばめられた直垂



青地一文字三星五七桐沢渦蔓紋散直垂(当館蔵)

動きやすさを重視した鎧直垂



茶地牡丹唐草文鎧直垂(当館蔵)



担当:当館学芸員 松田和也

下関ゆかりの武具を集めた展覧会です。毛利秀元所用の鉄錆地五十八間筋兜は、鳥居の前立てが特徴的で藩祖にふさわしい一品です。ぜひご覧ください!

下関市立歴史博物館

〒752-0979 下関市長府川端二丁目2番27号

Tel.083-241-1080 <https://www.shimohaku.jp>

《交通のご案内》

■公共交通機関

JR下関駅	長府・小月・宇部・秋芳・長門・西市方面行きバス (所要時間25分)	バス停 「城下町長府」 (徒歩10分)	下関市立歴史博物館
JR新下関駅	バス停「城下町長府」を経由する 「マリンランド」または「下関駅」行きバス (所要時間約20分)		
JR長府駅	バス停「長府駅前」から下関方面行きバス (所要時間約10分)		
■自動車			
下関IC	壱の浦方面へ進み、国道9号線経由(所要時間約20分)		
	長府方面へ進み、国道2号線経由(所要時間約15分)		

